

地域金融連携

⑤一般社団法人兵庫県信用金庫協会

「川上・川下ビジネスネットワーク事業」（2017年一般財団法人日本立地センター理事長賞）

受賞理由：県下全信用金庫が加入する協会と、地元大企業の技術系OB等のコーディネータが連携して、各信用金庫の顧客であるモノ作り系中小企業の持つ優れた技術・製品等のシーズを発掘するとともに、経営課題を明確化し、ニーズを持つ大・中堅企業とのビジネスマッチング、販路開拓支援、技術指導、資金調達支援等の各種支援を行っている。本事業の契機となった国の支援制度が終了した後も支援を独自に発展させ、各信用金庫の顧客支援と連携した支援等、入口から出口までの一貫した支援により地域経済の活性化に寄与している。

（実施者）

一般社団法人兵庫県信用金庫協会、公益財団法人ひょうご産業活性化センター他

（事業の背景及び経緯）

本事業は、地域経済及びものづくりの担い手である中小企業に対して、販路拡大や公的支援制度の活用などの経営支援を行うことにより、地域の活性化や中小企業の振興を目的とする社会貢献事業と位置付けている。

平成18年度に国（中小企業庁）の委託（補助）事業を神戸市産業振興財団が受託して、兵庫県信用金庫協会の会員金庫が参画したことに始まり、国の事業が終了した21年度から兵庫県信用金庫協会と会員金庫が資金提供して主催機関となり事務局を設置、21～23年度は神戸市産業振興財団、24～27年度は神戸商工会議所に業務を委託。28年度からは、兵庫県信用金庫協会の直轄事業として事業を継続し、29年度で12年目を迎えている。

（事業内容）

川上企業である中小企業の有するビジネス・シーズ（優れた技術・製品・ノウハウ）を発掘し、川下企業である大手・中堅企業のニーズ（必要とする技術・製品等）とのマッチングを図る（ビジネスマッチング活動）、国ほかの中小企業支援事業の活用を図る（プロジェクト活動）、資金調達等の支援（サポート活動）、広報支援（メディア活動）など、年間を通じて途切れることなく様々な活動を行っている。

活動の主体は、大手企業技術畑の出身者等（コーディネーター約25名、以下CD）、兵庫県内に本店を置く11信用金庫（経営支援専担部署）であり、事務局（専担者3名）の企画調整の下で、企業調査、ブラッシュアップ委員会、集中支援先プレゼン会、ニーズ説明会、マッチングフェアなどの活動を行っている。

（成果）

平成28年度活動実績

- ①企業調査活動：152件
- ②ビジネスマッチング活動：259件、うち成立87件
- ③プロジェクト活動：5件（販路開拓コーディネート事業、NEDO、サポイン事業、新連携、農商工連携など補助金を伴う公的認定事業の活用）

- ④サポート活動：51件（販路開拓、技術開発、経営相談、労務関係、資金調達等の支援）
- ⑤メディア活動：71件（調査実施企業を日刊工業新聞等に掲載、企業のPR活動につなげる）

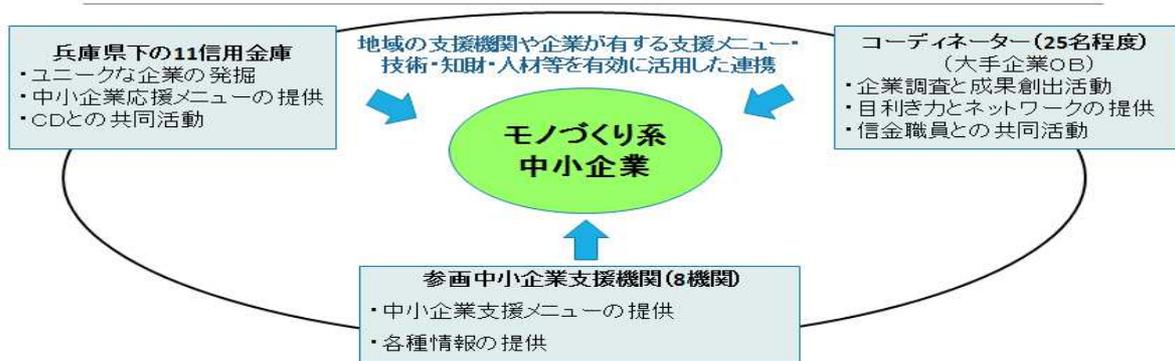
（事業に取り組み苦労したこと）

- ①大手企業の技術畑で培った豊富な経験と人脈を有し、本事業の趣旨や目的をよく理解して参加して頂くCDの確保が、本事業の成否を決定する大きな要因となっている。
- ②本事業の協力・支援機関として国・地方・民間の中小企業支援の有力機関を網羅しており、各関係機関には一層の連携と支援の強化を要望している。

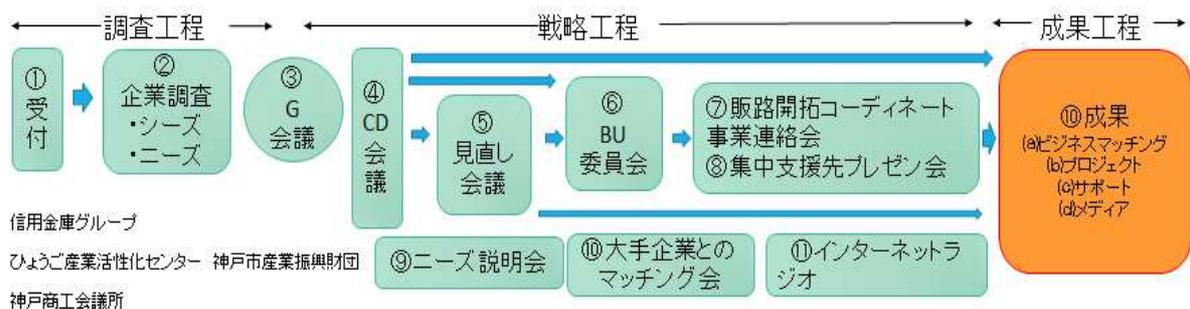
（事業の成功要因）

- ①本事業の趣旨、有効性に対する各関係機関（者）の理解と協力
- ②豊富な経験・人脈・高いモチベーションを有するCDの存在と、事務局の企画調整力の高さ
- ③支援先の中小企業における経営課題の認識と解決力・技術力の向上に対する熱意と努力
- ④信用金庫における支援先の中小企業に対する事業性評価、目利き力、提案力の向上

参画機関などとの連携



事業の流れ



- ③ G(グループ)会議…信用金庫グループを2つに分け調査を担当したCDと共に、対象企業の内容を協議・支援策を検討する。
- ④ CD(コーディネーター)会議…全CDが一同に会し情報を共有するとともに、事業活動の推進や成果創出のための協議を行う。
- ⑥ BU(ブラッシュアップ)委員会…各会議で選出されたBU企業の経営者と共に経営課題を明確にし、具体的解決策を検討する。
- ⑪ インターネットラジオ(Radiko.jp)…調査企業をゲストにお迎えし、商品・技術などを対談形式で紹介するビジネス情報番組。